



アジア・太平洋戦争 終結から80年

～上空のまなざし／地上の記憶
——名古屋空襲を解明する～

愛知学院大学 第237回モーニングセミナー

2025年12月9日

西形久司（東海中学・高校非常勤講師）

簡単な自己紹介

1958年金沢市生まれ 父親の転勤で名古屋市に転居 東海中・高を経て名古屋大学文学部入学

1990年東海高校教諭 教頭・副校長を経て2025年退職、今年度は非常勤講師

自治体史：『江南市史』本文編

『愛知県史』資料編 近現代政治行政 2・近現代政治行政 4・現代

『愛知県史』通史編 近代 3・現代

『新修名古屋市史』資料編 近代 3・現代

ピースあいち理事・愛知名古屋戦争に関する資料館アドバイザー・愛知県公文書館アドバイザー

東海学園大学共生文化研究所研究員・岩倉市文化財保護委員

なぜ「アジア太平洋戦争」なのか？

一例として……

この夏

私が現在住んでいる岩倉という小さな町の生涯学習講座で

この町の「戦場」体験の話をしました

小さな町の戦時体験から

大きな町 = 名古屋 の戦時体験を想像してみてください

いつ 戦死したか

336名の戦死時期

日中戦争 34名

(1936年～41年)

太平洋戦争 272名

(1942～45年)

戦後 33名

(1945年8月15日以降)

いつ戦死したか

戦後期 (1945年8月
15日以降)
10%

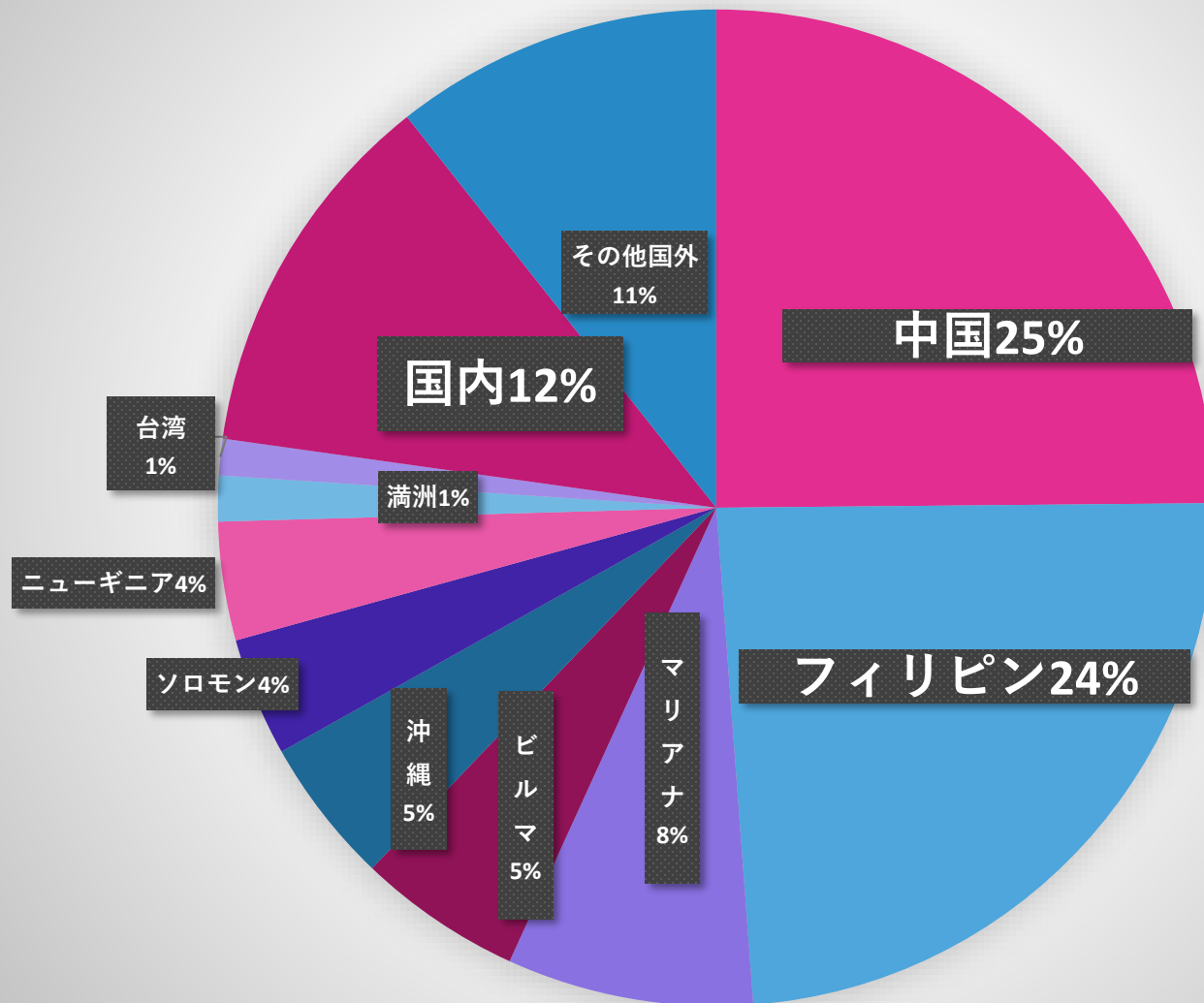
日中戦争期 (1936
年～41年)
10%

太平洋戦争期
(1942～45年)
80%

どこで戦死したか

中国	84名
フィリピン	81名
マリアナ	28名
ビルマ	18名
沖縄	16名
ソロモン	13名 (ガダルカナル島6名)
ニューギニア	13名
満洲	5名
台湾	4名
国内	41名
その他 (国外)	36名

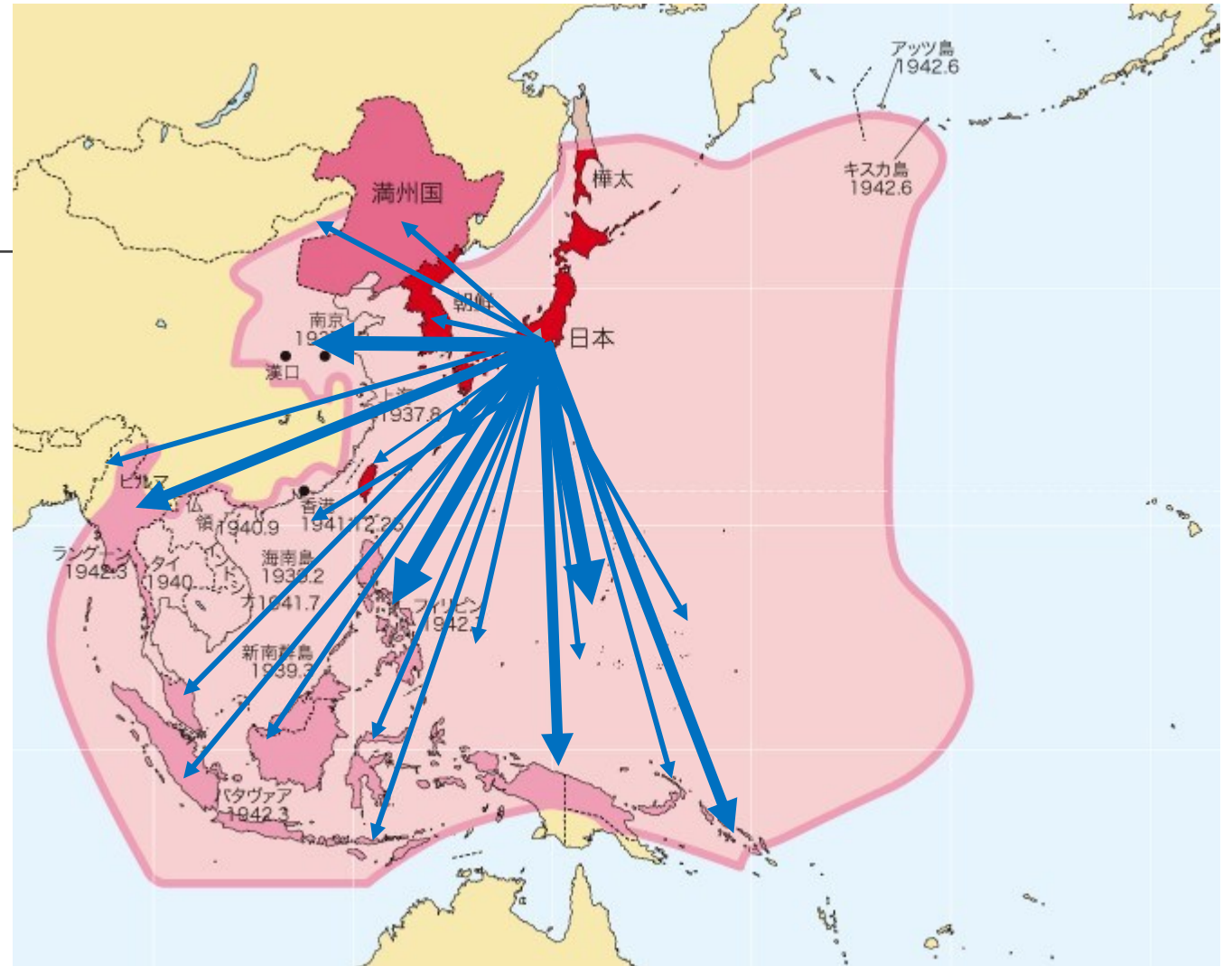
どこで戦死したか



小さな町から アジア太平洋へ

岩倉から戦地におもむき戦死した
男たちの足取りを追うと……

中国・フィリピン・マリアナ諸島・ビルマ・沖縄・
ソロモン諸島・ニューギニア・満洲・台湾のほかにも
ボルネオ・モルッカ諸島・小スンダ列島・
パラオ・マレー・スマトラ島・カロリン諸島・
マーシャル諸島・ニューブリテン島・朝鮮・
インパール・シベリア……



今日のメイン・テーマは 80年前の名古屋の戦時体験＝ **空襲** でした

名古屋の皆さんが 意外と知らない 名古屋の空襲

名古屋の受けた市街地爆撃←**焼夷弾**で街を焼き払う

焼夷弾の投下トン数…… 1：東京 9811トン

2：名古屋 9761トン

名古屋の受けた精密爆撃←高性能**爆弾**で工場などを破壊する

爆弾の投下トン数…… **1：三菱重工名古屋発動機製作所 2668.5トン**

2：中島飛行機武蔵製作所 2602.5トン

超大型戦略爆撃機 B 2 9



戦略爆撃とは：敵国の生産力や国民の戦意の破壊を目的とする爆撃

敵地深く侵入し工場や都市を攻撃→長大な航続力と大量の爆弾積載能力が必要

↓ それを可能にしたのが

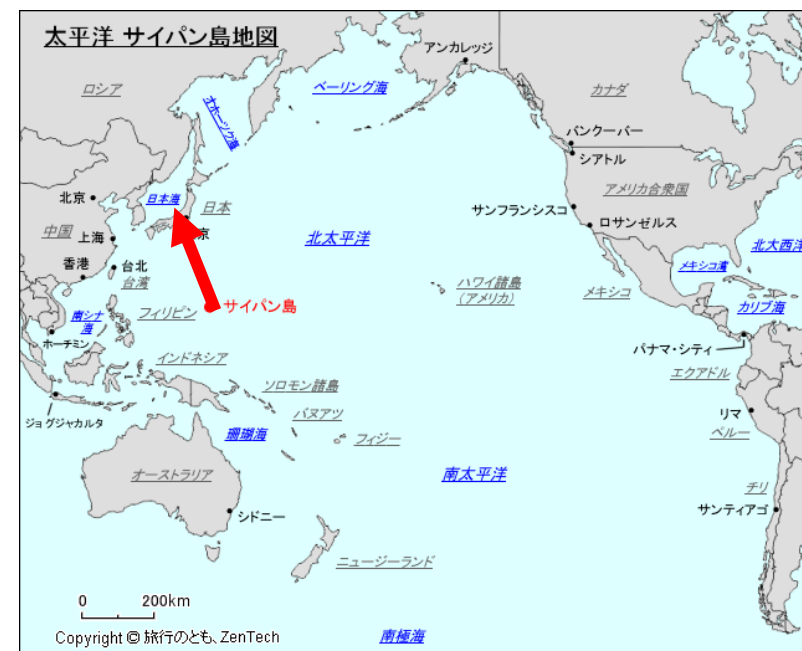
アメリカ軍の超大型爆撃機 B 29 (幅43m×長さ30m)

30億ドル (日本の歳入の3分の1) もの巨額をつぎこんで開発

日本の戦闘機がたどり着けない1万メートル上空をスイスイと飛行

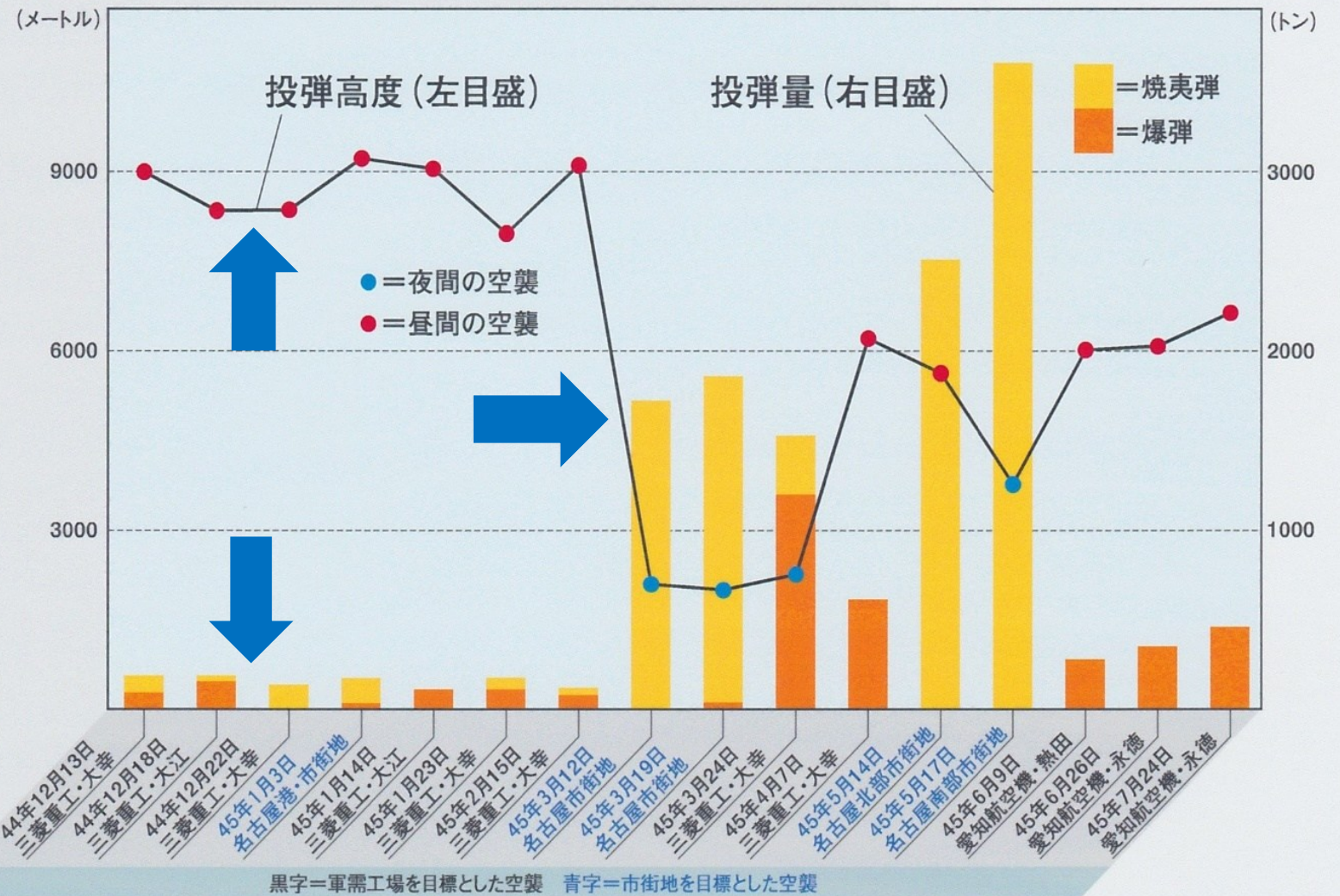
広島・長崎に原爆を落としたのも B 2 9

戦争最終盤の10か月 **マリアナ基地** (サイパン島など) から出撃

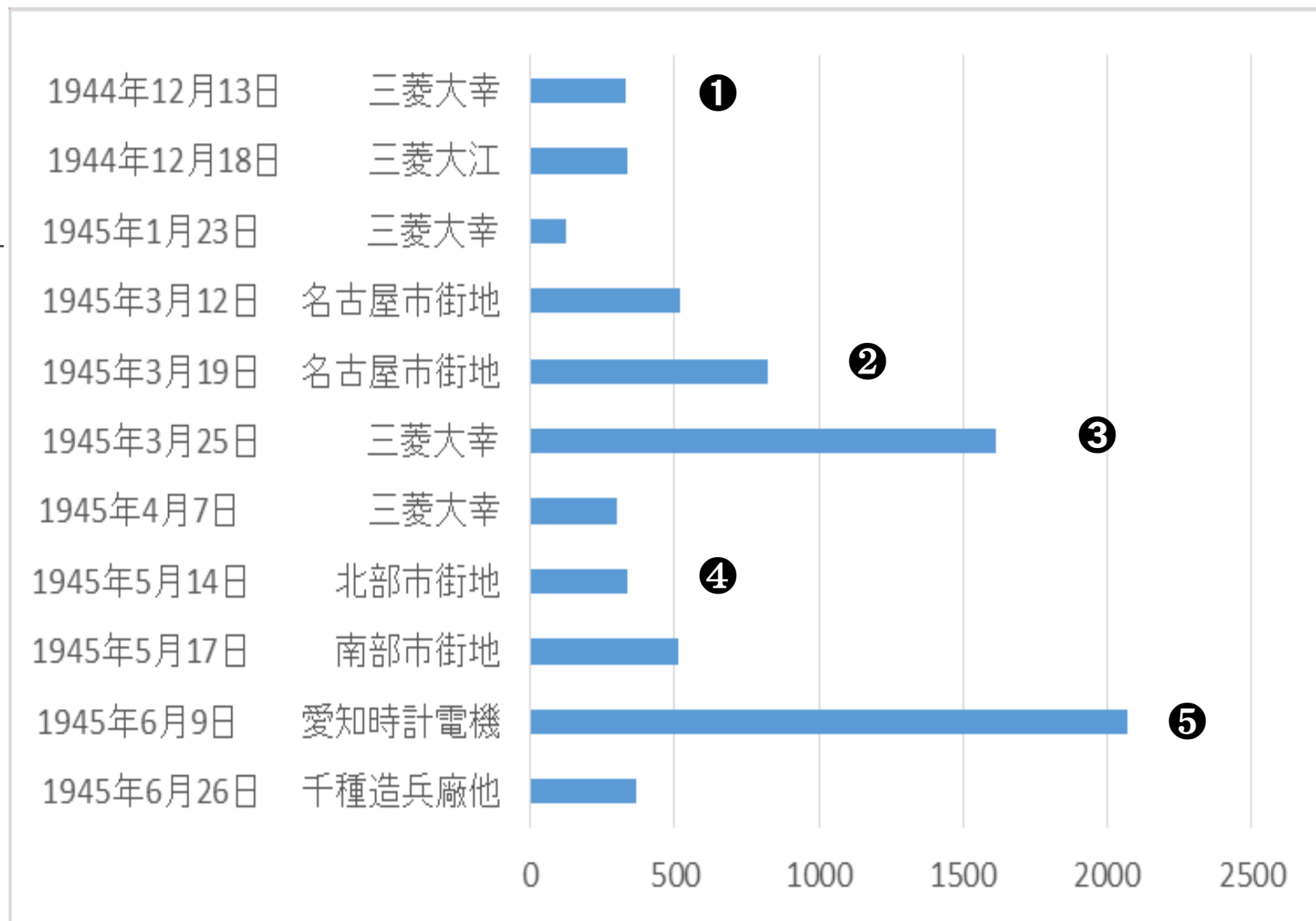


投弾量と投弾高度

【パネル I】名古屋が受けた空襲 — 投弾高度と投弾量 (出撃機数40機以上)



名古屋が 受けた 主な空襲の 死者数



名古屋初空襲の 1週間前に……

1944年12月13日の1週間前 = 12月7日

東南海地震 発生 M7.9

翌12月8日の『中部日本新聞』は

【中央気象台十二月七日十五時五十分発表】

本日午後一時三十六分ごろ

遠州灘に震源を有する地震が起こって……

被害を生じた所もある。

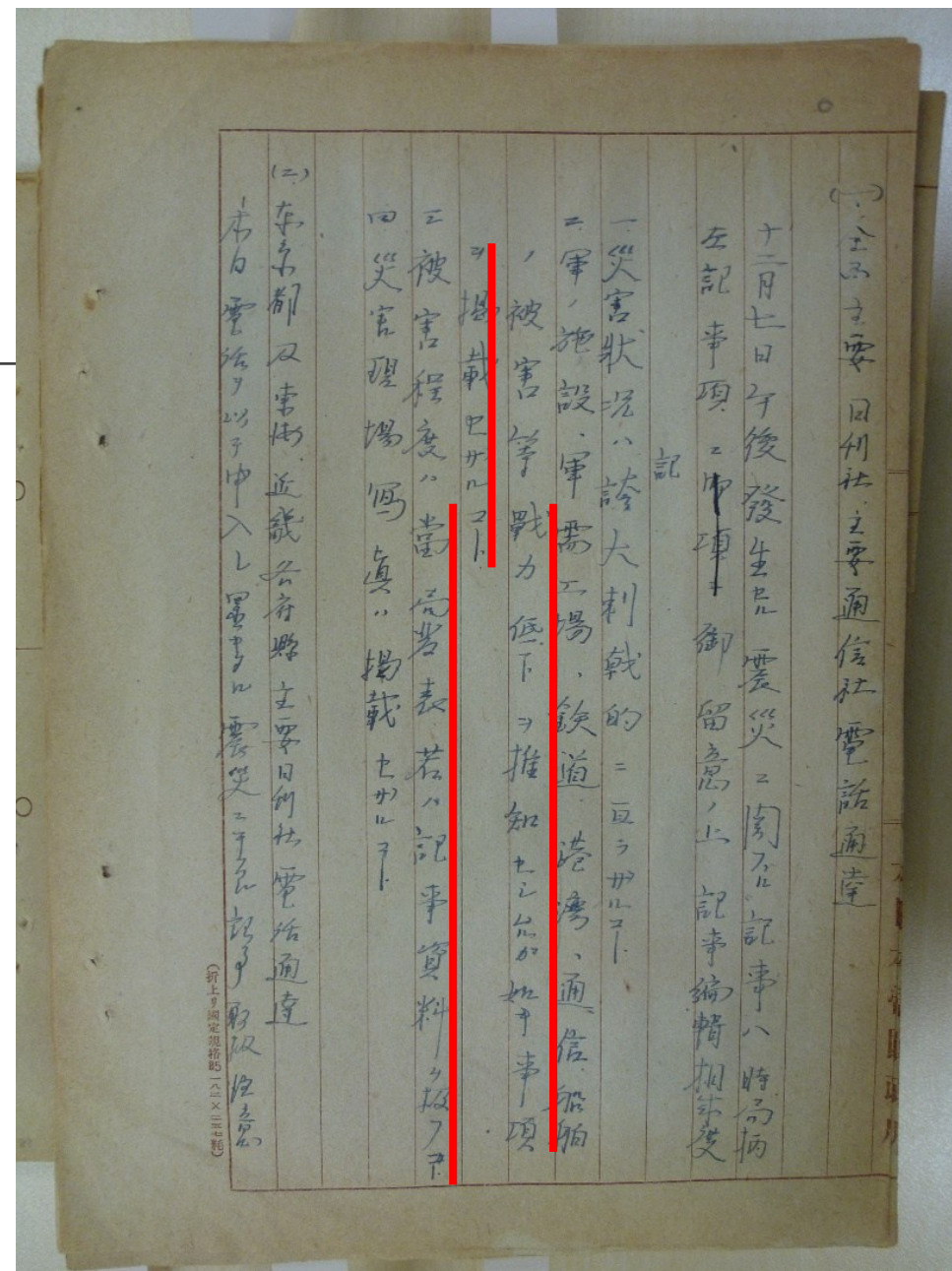
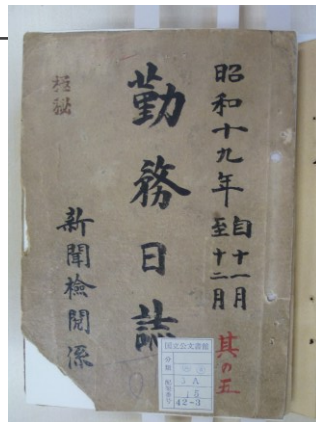


内務省新聞検閲係 勤務日誌

(国立公文書館所蔵)

当日のうちに
全国の
新聞社や通信社に
報道を規制する
指示が
電話で通達されていた

戦力低下を推知せしむる事項は掲載せざること
当局発表記事・資料を扱うこと



同じ日の『ニューヨークタイムズ』は……

世界中の観測点
6時間にわたり
大地を揺るがす烈震を記録

→初空襲の前に
情報戦で負けていた



②名古屋など4大都市を焼き払う

1945年3月になると

マリアナ基地のB29**配備機数が増大**

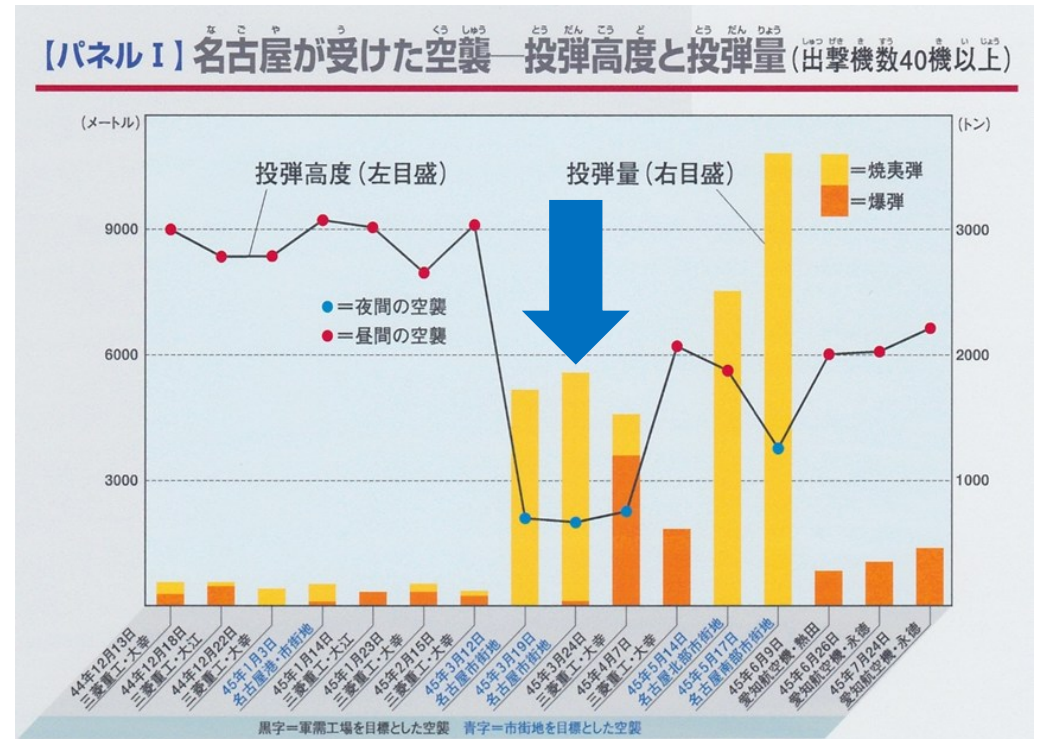
日本の防空体制の弱点を見抜く = **夜間戦闘力が弱い**

夜間に焼夷弾で都市を焼き払う作戦へ

→ 3月中旬の焼夷電撃戦 (BLITZ)

10日 東京 **12日 名古屋** 14日 大阪 17日 神戸

そして **19日 もう一度名古屋**



なぜ名古屋だけ2回も？

3月10日 夜 東京

3月12日 夜 **名古屋**

3月14日 夜 大阪

3月17日 夜 神戸

3月19日 夜 **名古屋**

→10日の東京の結果を見て 12日の名古屋では 投弾密度を変更→その結果……

→1週間後の19日に「やり直し」

なぜこんなに不発弾が？

中区丸の内二丁目 → 焼夷弾

2024年……10月17日（11月30日処理作業）

2025年…… 2月14日（3月20日） 2月24日（4月5日）

3月1日（4月20日） 6月10日（7月13日）

東区葵一丁目 = 布池教会 → 爆弾

2014年……10月24日（12月15日）



丸の内で見つかったのは 大型焼夷爆弾M76

M76焼夷爆弾とは

重量500ポンド（正味約217kg cf. M69 = 6ポンド）

ナパーム（油脂）・マグネシウム焼夷弾

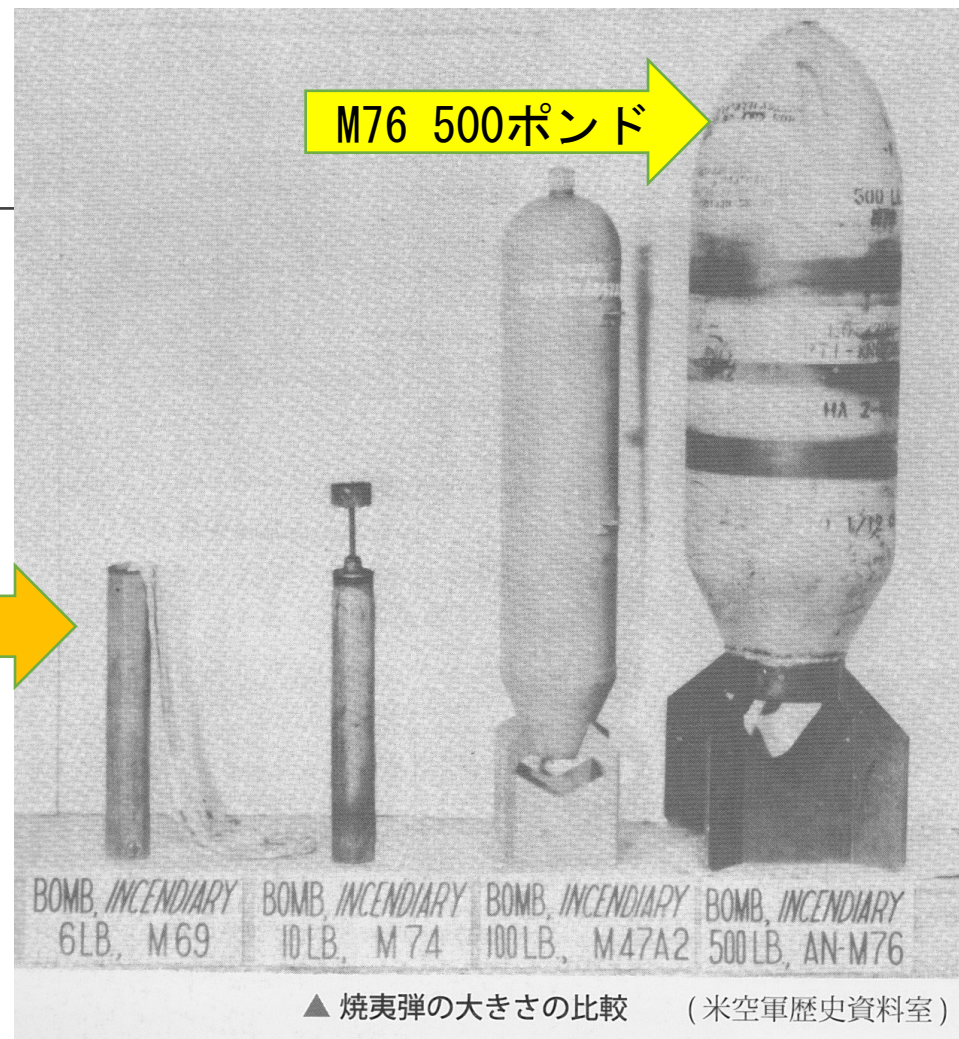
クラスターではない→**散開しない**

米軍の資料によれば

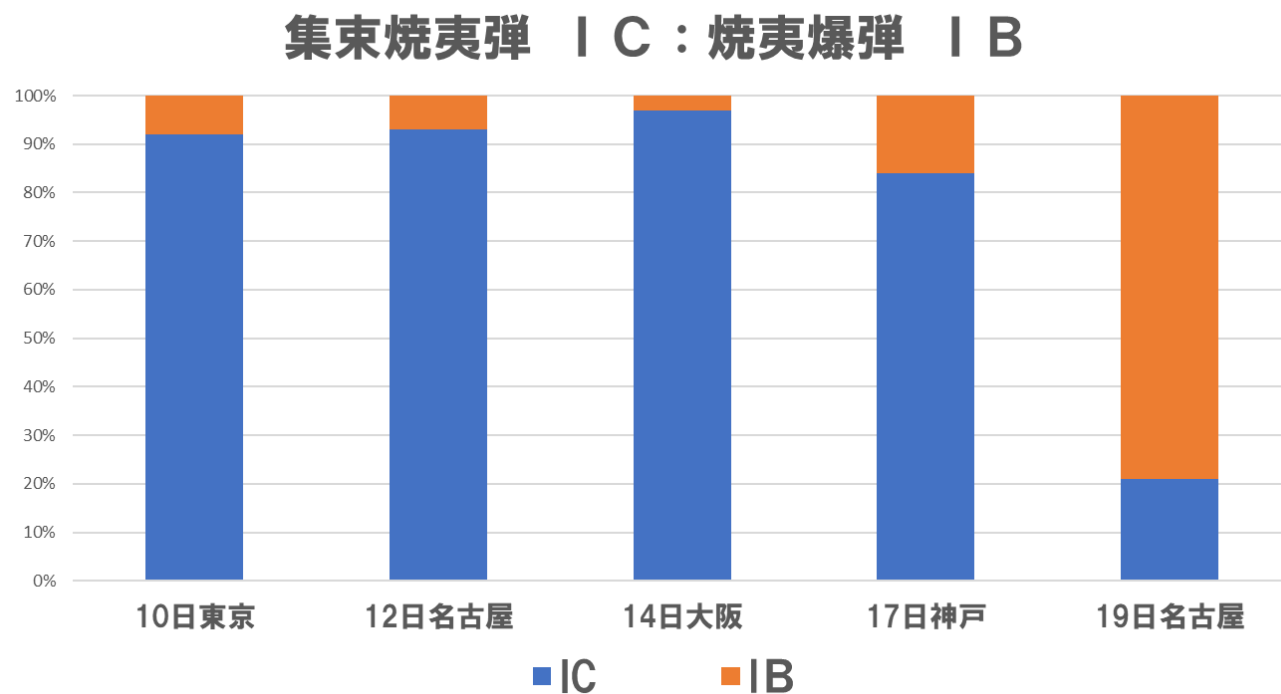
この焼夷弾が 名古屋の市街地空襲で使われたのは

1945年3月19日のみ

→1945年**3月19日の空襲**で落された



名古屋への2度の爆撃は 米軍にとっても想定外



マリアナ基地の焼夷弾を

根こそぎ投入した結果……

途中で散開する集束焼夷弾より

そのまま地表で炸裂する

大型の焼夷爆弾の方が多くなり

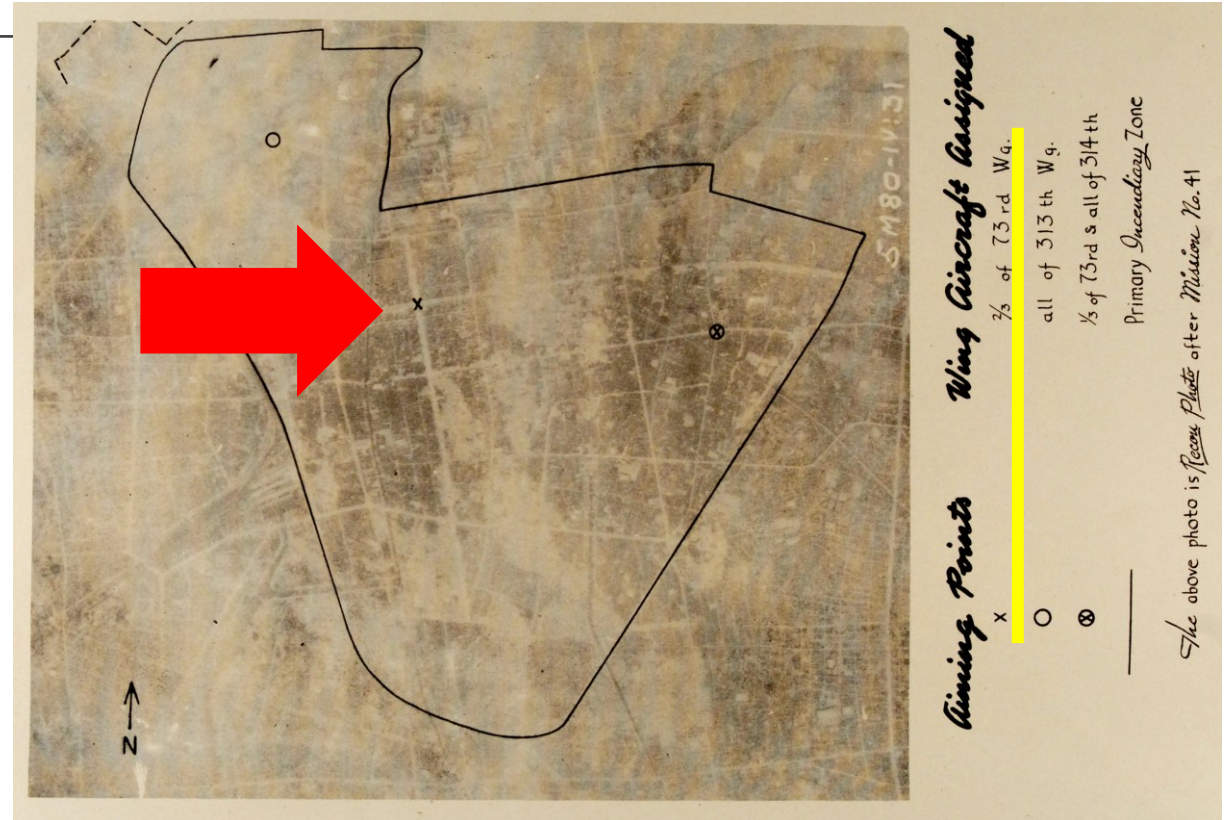
たまたま信管が作動しなかった場合

地中にもぐりこんで

不発弾となった

大型焼夷爆弾M76を積んだ第73航空団の目標は丸の内周辺

3月19日空襲の「作戦任務報告書」から →
×印は第73航空団 73rd Wing
との指示がなされている



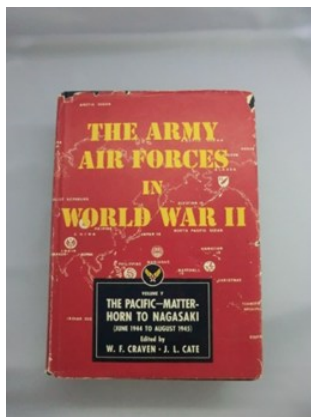
「実験」だった3月25日の空襲

アメリカ軍の公刊戦史に

夜間精密爆撃は

実験 experiment は

short-lived 短命に終わった

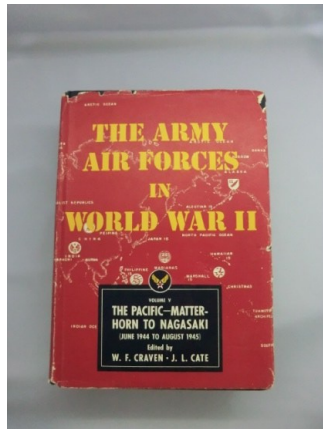


Industrial Targets

The experiment with night precision attacks was short-lived. It was suggested by Arnold who had been greatly impressed by night operations during the March blitz.³ LeMay was willing to try the experiment: if successful, the tactics contemplated would go far toward making precision bombing independent of weather, and night bombing was more efficient than day in tonnage lifted and less costly in planes lost.⁴ His first trial was a large one, a 251-plane mission against Mitsubishi-Nagoya on 24 March. In four daylight attacks this priority target had received only minor damage. For the night attacks, operational plans were based on a variation of the RAF pathfinder technique: 10 minutes before bombing time 10 B-29's were to light the engine works area with M26 flares; 5 minutes later another 10 B-29's would drop M17 incendiary clusters to start marker fires: then

Negligible = 「取るに足らない」結果

アメリカ軍の公刊戦史には
negligible 取るに足らない



The several formations came over with excellent timing but thereafter the attack fell apart. Cloud complicated the bomb run and, combined with smoke from the incendiaries, obscured the lights from the flares; some of the incendiaries fell outside the factory complex and bombardiers sighting on them were off target. Thus, though the attack with its 1,533 tons was the heaviest ever sent by the command against a single aircraft industry target, the results were negligible: only 60 tons of bombs fell in the factory area, damaging a few minor buildings and causing no appreciable loss in production.⁵

Still interested in the possibilities of night tactics, LeMay's operations officers realized that some more effective way of lighting the target would have to be devised. Because there was no agreement at

1800の取るに 足らない命

空襲で犠牲になった町内会長の死因

名古屋市市政資料館所蔵の資料「町内会長副会長進退綴」より

3月12日 2件 3月19日 1件

→ 「全身火傷」「窒息死」

3月25日 10件

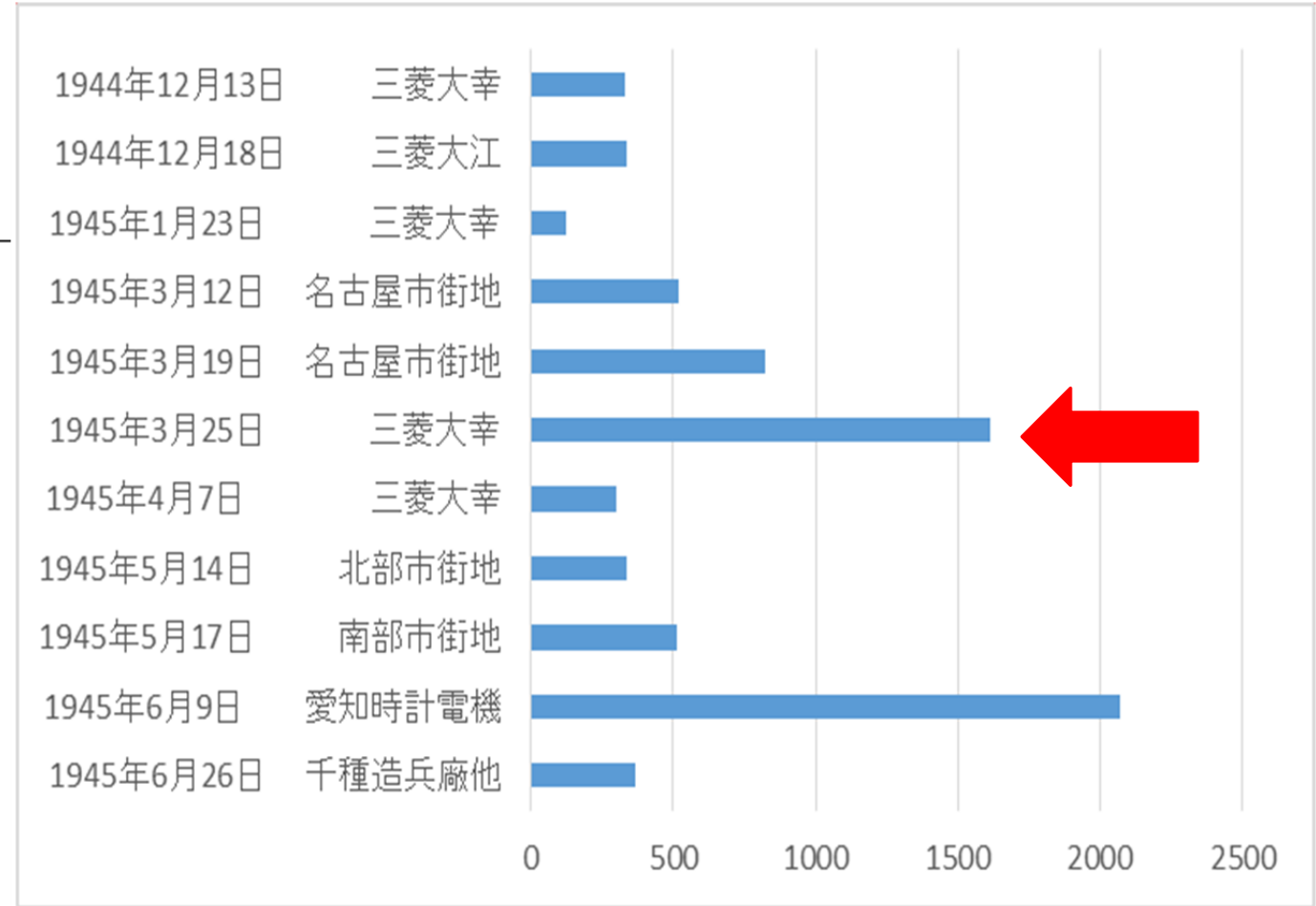
→ 「爆風ノタメ」

「至近弾二依り腹部二弾片貫通」

「敢闘中行方不明トナル

現場付近ニ於テ屍体又ハ遺留品等

全然発見セズ…」



爆弾による死

ある市民の回想

野田をとみ「ある未亡人の苦しみ」

(『名古屋空襲誌』第4号 名古屋空襲を記録する会1978年刊)

突然耳をつんざくような大音響がそのあたりでしたかと思うと

パツ、パツと明るくなってすぐ消えた。…

舅が、障子に何か黒い大きなものが引っかかっているようだが、何だろうと言った。

私もいっしょにそばに行って懐中電灯で照らした。

とたんに私は自分でもわけのわからない悲鳴を上げて、

へたへたとそこへ座り込んでしまった。

夫の上半身が千切れて障子の腰板に引っかかっていたのである。

日銀名古屋支店報告 「戦災被害状況」

被害状況

爆弾の炸裂**全市を震撼**、一時間半の爆撃中……震動瞬時も止むことなく……
市民はいずれも生命に対する脅威を、身をもって体験せしをもって
従来屢次（「るじ」=しばしば）の空襲の試練によく耐え来たりしにもかかわらず
今回は実に深刻なる衝撃を受け、流石に不安動揺の色甚だしきものあり。
今や高度の防空施設等の**具体的措置を早急且つ強力に講ずるに非れば、**
人心の鎮静を期し得ざるべし。……（『愛知県史』資料編27政治行政 4）

④名古屋城が焼けた日

1945年5月14日

名古屋の北部市街地を焼き払った空襲



名古屋城天守閣が焼かれた空襲

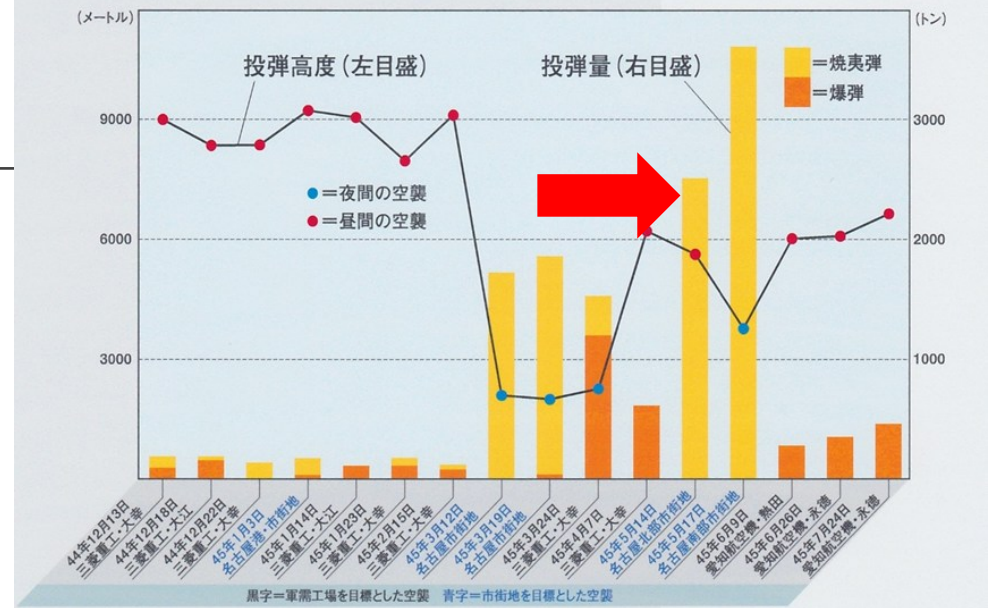
アメリカ軍は

名古屋市民の戦意を打ち砕くため

名古屋市民のシンボル 名古屋城を焼いた……？

←岩田一郎氏撮影

【パネルⅠ】名古屋が受けた空襲—投弾高度と投弾量(出撃機数40機以上)



アメリカ軍の目標は市街地に 「手に負えない火災」を起こすこと

日本を 敗北へと 追い込むためには
国民の戦意を奪えばよい
→生活の場を 焼き払うのが いちばん
→木造家屋が 密集している 都市中心部に
消火活動が お手あげになるくらいの
激しい火災を 起こそう



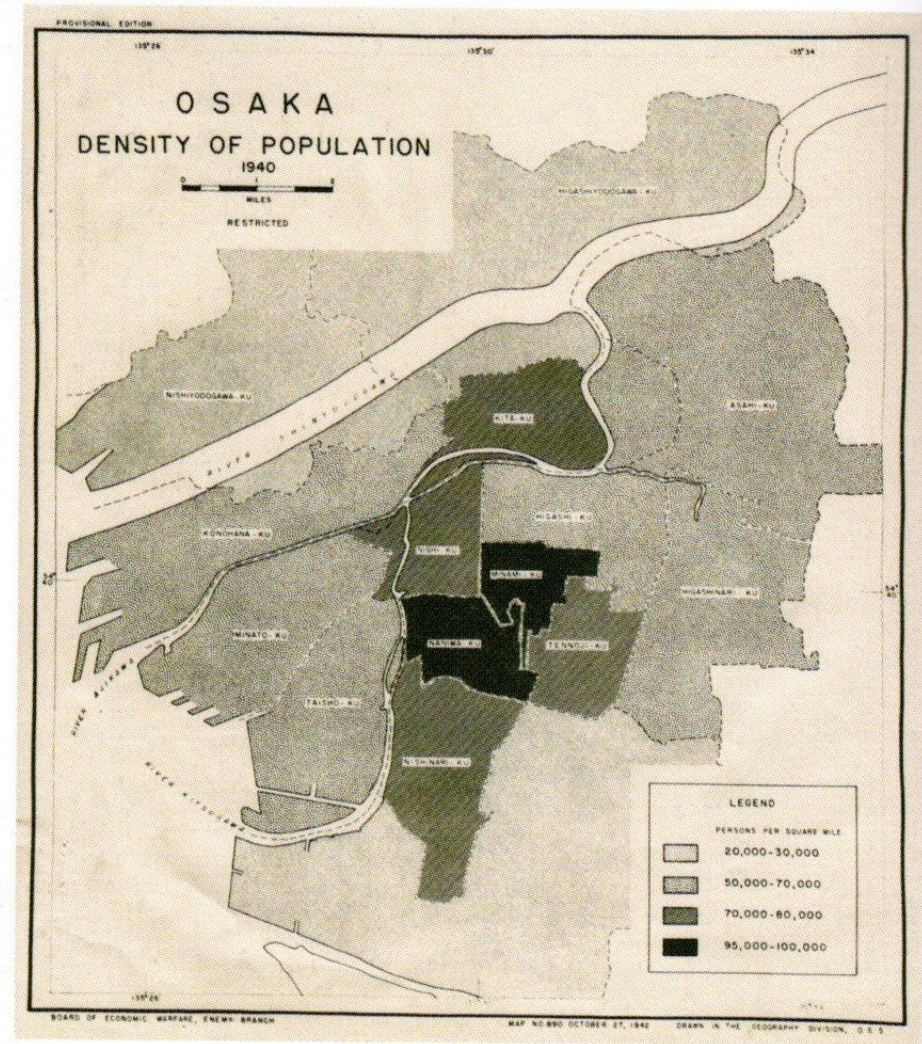
これが「**アプライアンス火災**」理論 Appliance Fire ※appliance : 消火設備・施設

都市の どこに どれだけの 焼夷弾を 落とせばよいか アメリカ軍は徹底的に研究していた

燃えやすさの研究 |

1940年の**国勢調査**を
もとに
各区の人口密度を算出
(大阪の事例)

工藤洋三『日本の都市を焼き尽くせ』より→

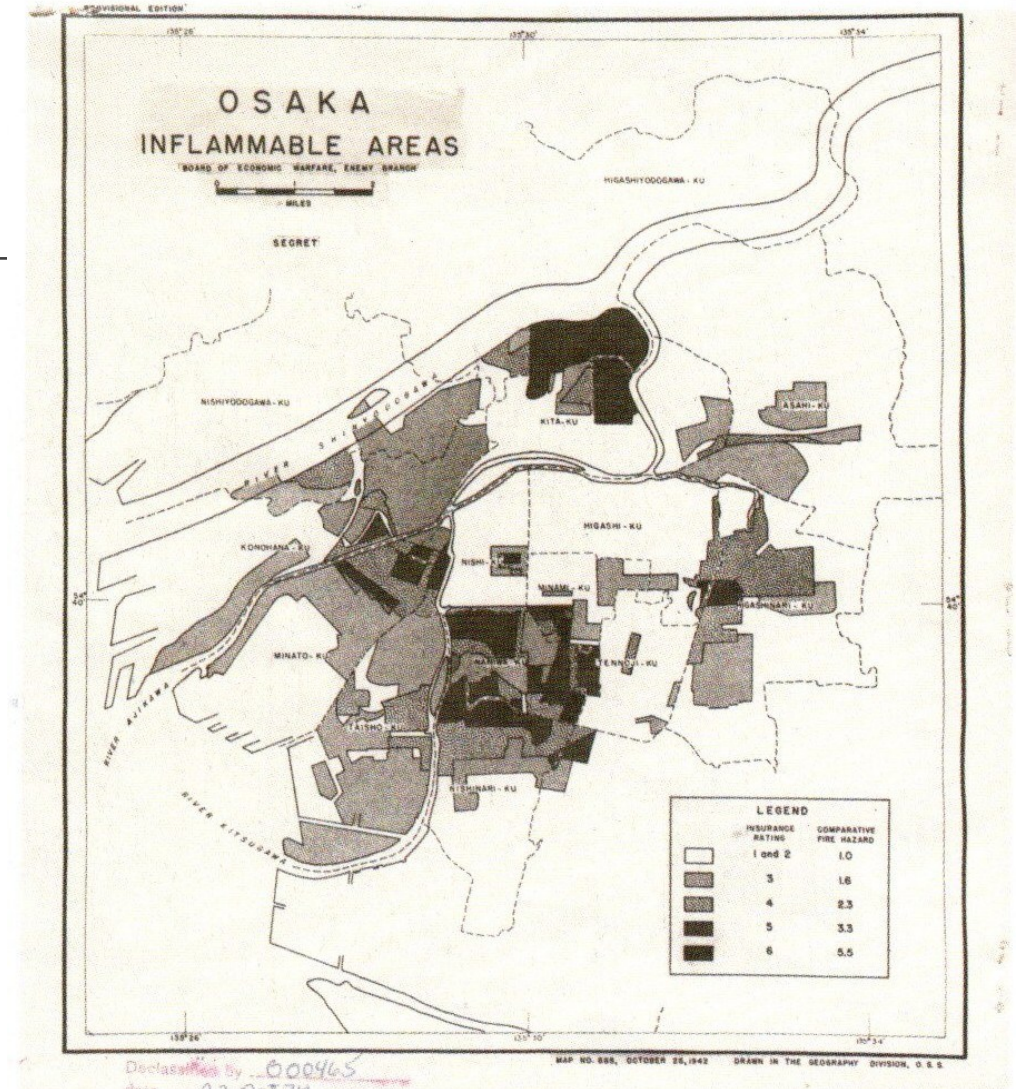


燃えやすさの研究 II

火災保険の等級から
燃えやすい地域を判定

(大阪の事例)

工藤洋三『日本の都市を焼き尽くせ』より→



アメリカ軍作成の 名古屋のゾーン・マップ

1943年頃アメリカ軍が作成した地図

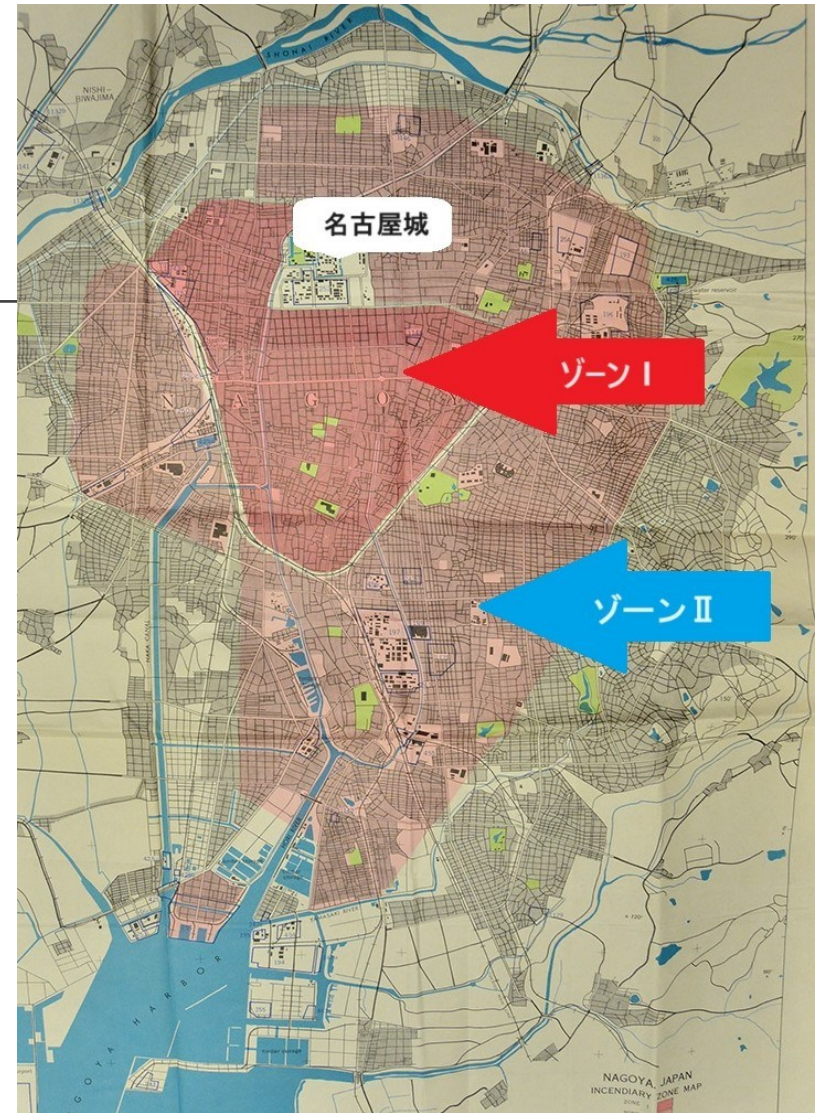
ゾーンⅠ

1平方マイル当たり91,000人
商業地・密集した住宅地

ゾーンⅡ

1平方マイル当たり54,000人
工場や倉庫、港湾を含む市街地

ところで、名古屋城は……？

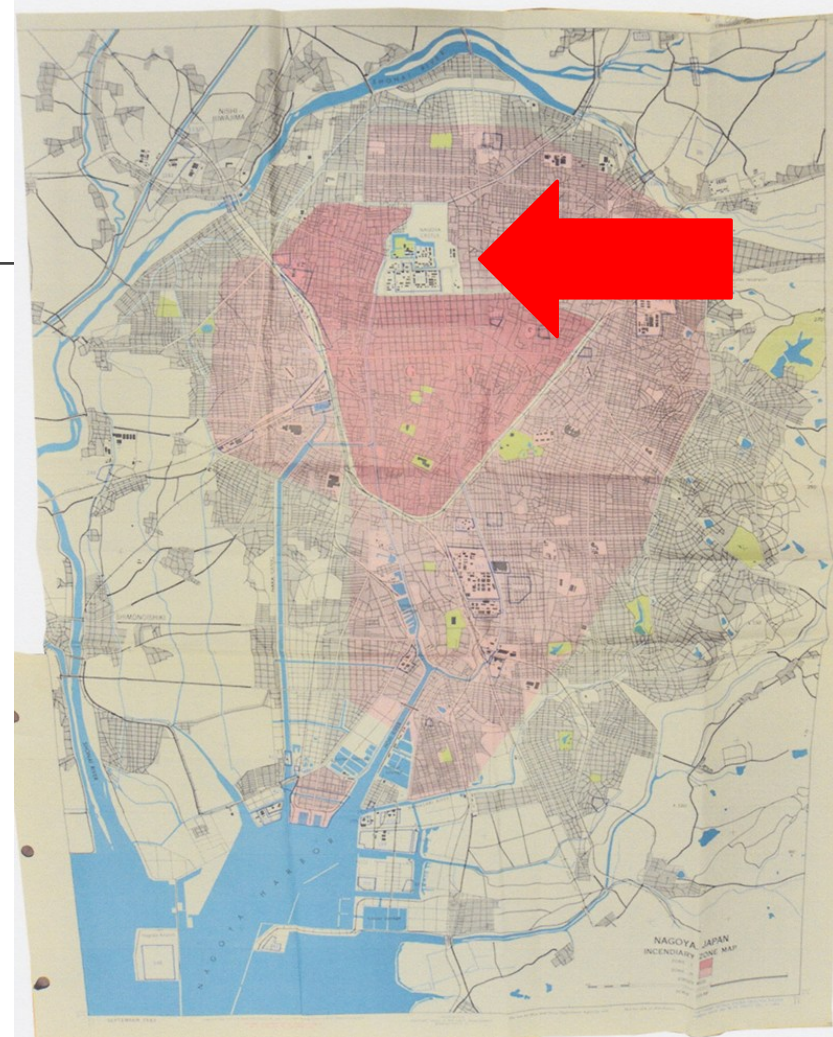


名古屋城は空白域

建物が密集していない名古屋城は
空から焼夷弾をばらまいても
狙い通りの

アプライアンス火災は起こせない

ゆえに ↓ アメリカ軍は
名古屋城を狙ったわけではない!!
では、なぜ名古屋城が焼けたのか？



昼間の市街地爆撃という試み

ゾーンⅠ → 3月の2度の爆撃で焼き払ったので もう焼く必要はない

ゾーンⅡ だけを 効率よく 焼くには → 昼間の時間帯に 爆撃するしかない

爆撃開始は 午前8時5分

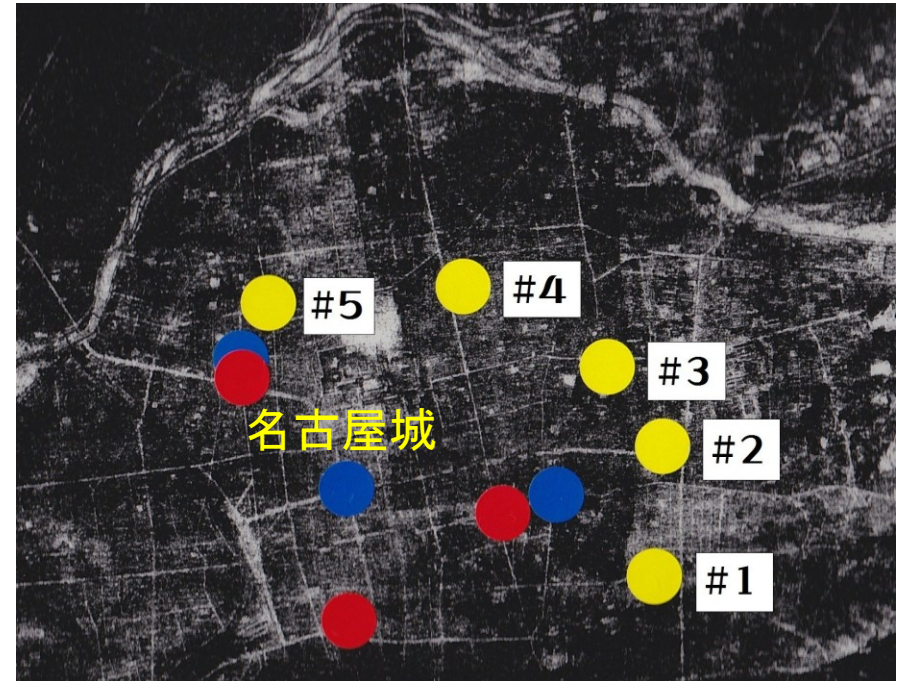
高度は やや高め (3月は2000m前後→今回は5~6000m)

計画では B29部隊は先着順に

遠い方から #1 → #2 → #3 ……と

順に爆撃することになっていた

#1 ~ #5は5月14日空襲の爆撃中心点→



想定外の事態

いままでと違ったのは 昼間の時間帯であるがゆえに……

日本側も 今度ばかりは **激しく抵抗**

その結果

→ B 29の損失は……

3月12日・19日のときは1機ずつ ⇔ 今回はなんと……

11機!!

想定外の事態に B 29部隊は……



名古屋城は 煙の下に

1 から順のはずが……

空襲開始後 間もない段階の写真

写真中央が 爆撃中心点 # 5

(今の地下鉄浄心駅付近)

名古屋城天守閣は

右下の煙に覆い隠されて

上空からは確認できない



(工藤洋三『日本の都市を焼き尽くせ!』より)

5月14日の朝 地上では何が？

午前**8時05分** B29部隊投弾開始←アメリカ軍資料による

8時20分頃 天守に焼夷弾落下 火災発生

←「国宝建造物滅失届」(県知事→文部大臣)

9時25分 消火活動開始

←「消火活動実施報告」(愛知・名古屋戦争に関する資料館所蔵)

∴空襲のかなり早い段階で天守に火災発生

火災発生から消火活動開始まで → 1時間のブランクはなぜ!?

門が落下せしため……

「消火作業実施報告」(愛知・名古屋戦争に関する資料館所蔵)

門が落下せしため

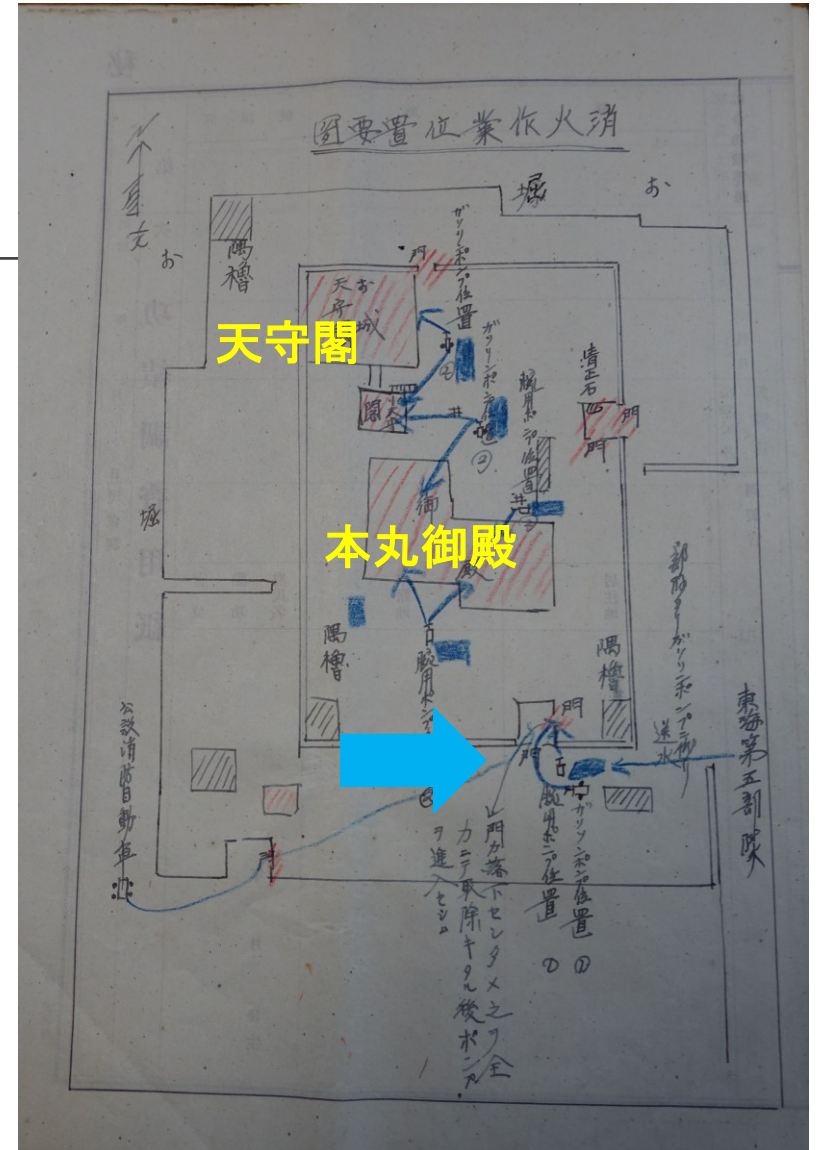
之ヲ全力ニテ取除キタル後

ポンプヲ進入セシム

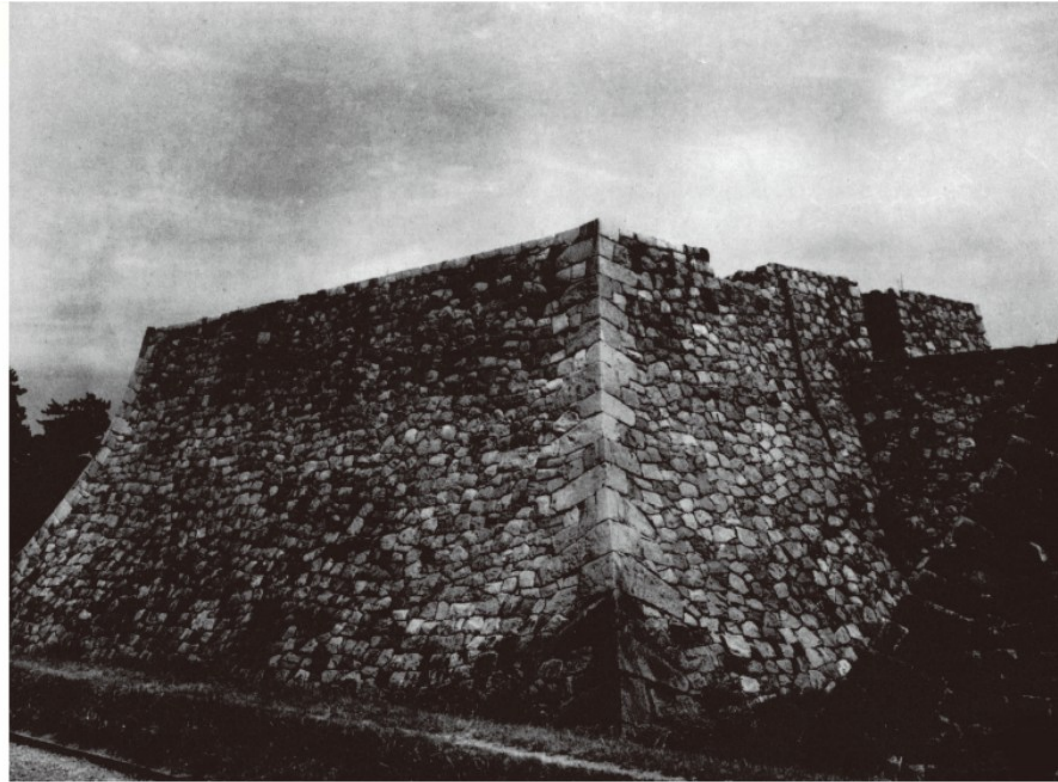


焼け落ちた門に行く手を阻まれ

消火活動が遅延した



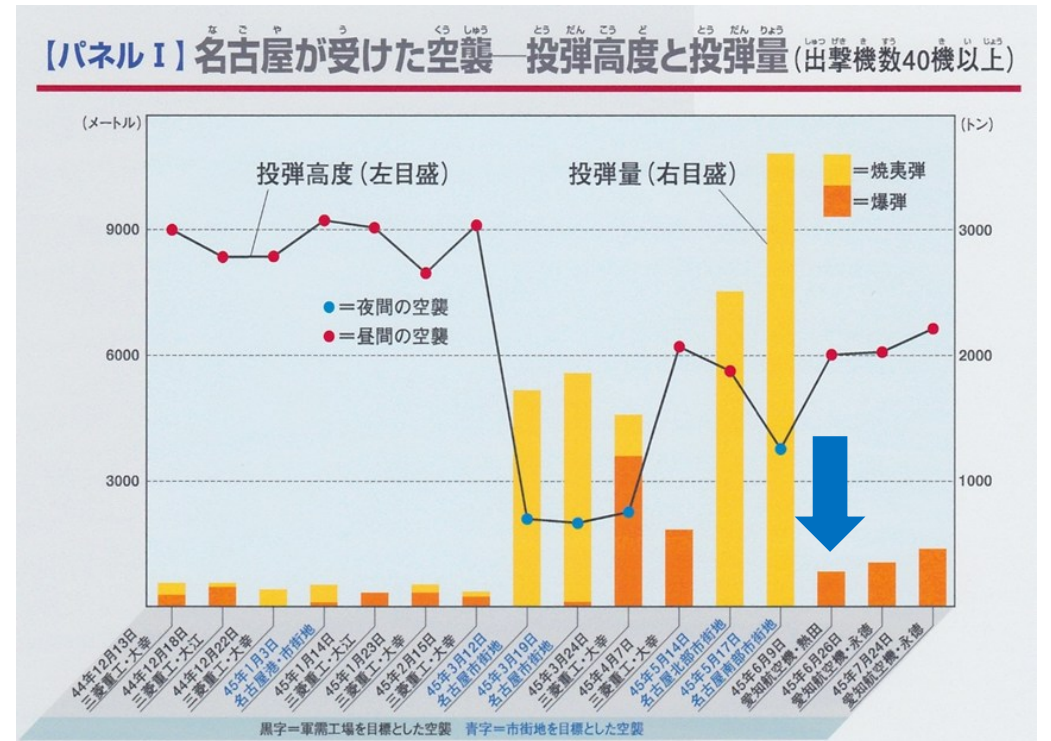
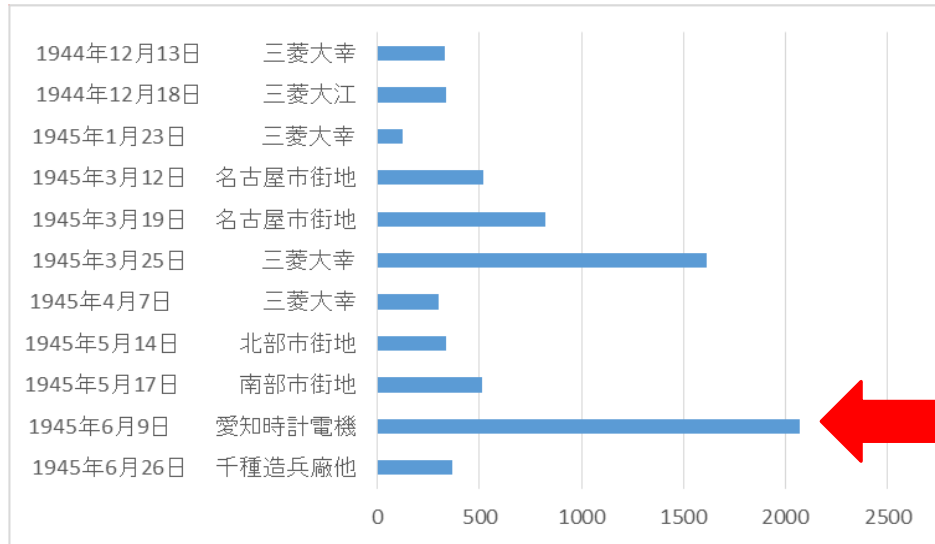
石垣だけを残して……



⑤愛知時計の空襲（熱田空襲）

1945年6月9日 愛知時計電機（熱田区）に対する爆撃

名古屋が受けた空襲で最大の犠牲者数



わずか数分間で2000人以上

1945年6月9日 午前

8時24分 空襲警報発令

8時45分 空襲警報解除

9時17分 爆撃開始



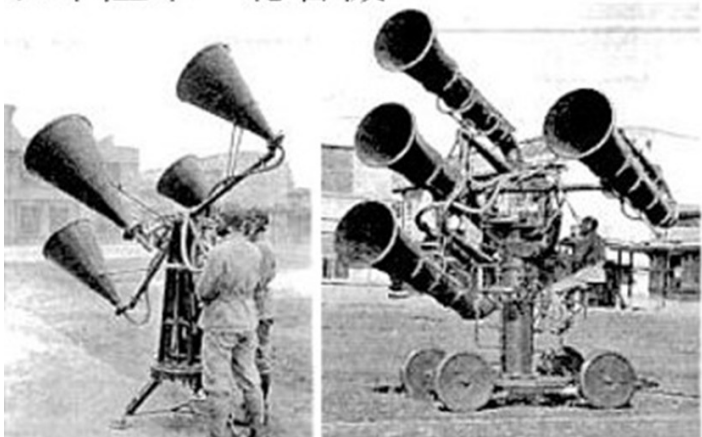
⇒ わずか**数分間**に4機1機のB29が271トンの爆弾を投下

うち242トンは2トン爆弾→**2トン爆弾を初めて使用**

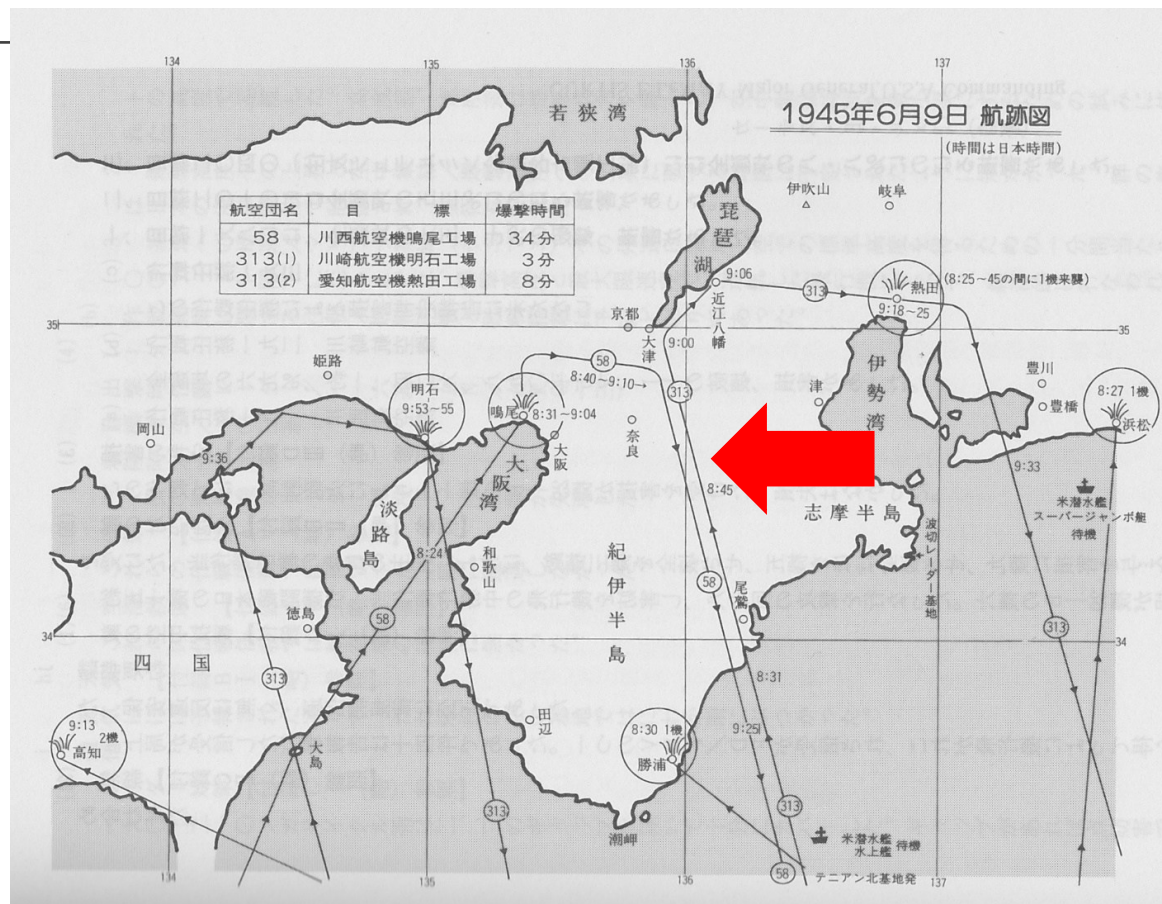
なぜ警報を解除したのか？

日本の防空体制の弱点

日本陸軍 聴音機



『紺碧の空が裂けた日』より→



なぜ時計会社が？

1892年 = **愛知時計設立** → 東京で精工舎が設立された年

その後 → 新規参入の業者が乱立 愛知時計の経営に暗雲が……

最初の転機は日露戦争

1904年 = 日露戦争の年 → 愛知時計の**精密技術を見込んだ海軍**が

魚雷発射管の製造を発注

→ 愛知時計はしだいに **海軍との関係を深めていった**



柱時計製造で培われた木工技術が

第2の転機は第一次世界大戦後

1920年 航空機生産に乗り出す 当時は**木製**の複葉機

→軽量化のため機体もプロペラも**木製**

柱時計製造で培われた木工・接着技術を生かして

その後ドイツの新興航空機メーカーのハインケル社と提携

→艦上爆撃機を 独占的に海軍に供給

さらにエンジン開発にも着手



時計をつくらなくても 社名の「時計」はそのまま

愛知時計電機の生産額の比率（1942年）

航空機・発動機59.5% 水雷などの兵器類38.9%

時計類1.6%

愛知時計電機は戦争の進展とともに

軍需企業に大きく変貌

→そのために米軍からも重要な攻撃目標とされた



戦後80年…… この先も「戦後」でありますように

21世紀の私たちにとって 戦争の歴史がもっている意味は？

「体験」の時代から

「記憶」「語り」の時代を経て

これからは

「語り継ぎ」と「学び」の時代へ

体験者を越えることはできないが 80年にわたる蓄積から「学ぶ」ことはできる

→同じ体験を2度と繰り返さないために いま 必要なこと

ご清聴ありがとうございました
これからも ともに
学び続けましょう

愛知学院大学 第237回モーニングセミナー

2025年12月9日